

7. 水源地域動態

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れの評価を行う。一つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えてくべきか等についての評価方針とする。

もう一つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設等が十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているか等の評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。

作業のフロー図は図7.1に示すとおりである。

(1) 水源地域の概況整理

天ヶ瀬ダムの水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

ダム建設が直接地域社会に与えたインパクト、周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握・整理する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域に関わりに関する評価

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。さらにダム管理者と地域の関わりとして、ダム管理者と地域との交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等について整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想を持っているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

(6) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

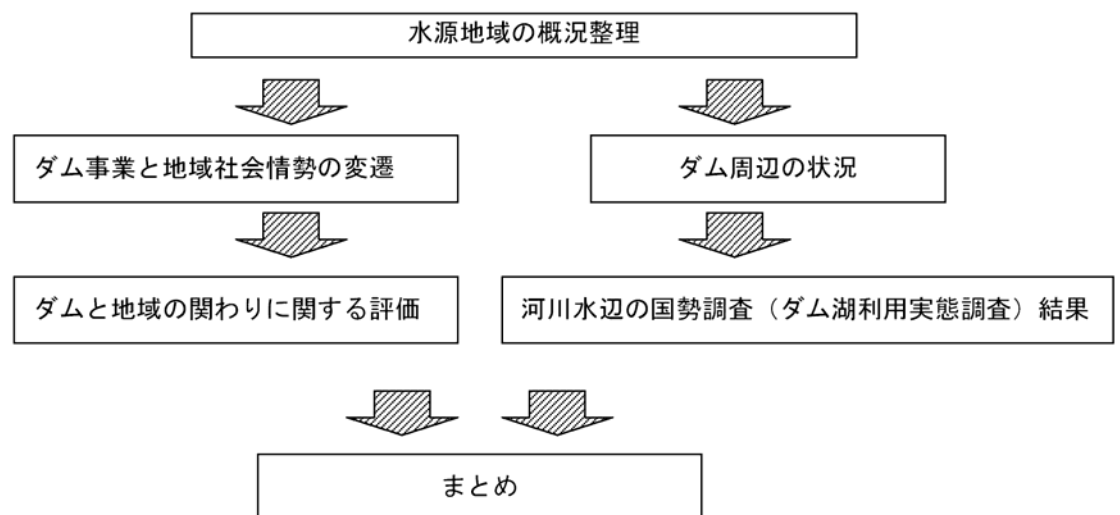


図 7.1 検討手順

7.1.3 水源地域の特徴

天ヶ瀬ダムは永い歴史と豊かな文化のある水源地域に位置しており、その水源地域動態にかかる特徴は以下に示すとおりである。

- 天ヶ瀬ダムの貯水池は、京都府と滋賀県の、宇治市、宇治田原町、大津市の3市町にまたがっているが、京都府側と滋賀県側の日常的な交流は少ない。
- ダムサイト付近は、平等院や宇治上神社などの世界文化遺産がある宇治市の観光の中心や鉄道駅から2～3kmの近距離にあり、また隣接して森林公園が整備されており、多数の人が散策等で来訪する条件にある。
- 一方で、ダム建設時期が昭和39年度と古く、ダムサイト付近には一般来訪者用の駐車場は設けられていない。また近年路線バスも廃止されているため、徒歩以外の来訪手段がない。
- 都市近郊のアーチ式ダムであり、過去投身自殺が絶えず、ダム管理者としても安全対策に取り組んでいる。
- 貯水池上流部の大石地区には都市公園としてスポーツ施設が整備され、大津市民を中心に多数の利用者がある。
- 貯水池に沿ってダム建設時に設置された宇治市と大津市を結ぶ府県道は、通過交通量が多く、不法投棄等も多く確認されている。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

天ヶ瀬ダム周辺地域は、京都・奈良の中間地点に位置することから、早くから居住が進んだ地域である。世界で3番目に古い湖と言われる琵琶湖周辺では、縄文時代には人の営みが行われていたことが湖底遺跡等から推察される。

大津市の南部地区は、滋賀県でも最も人口が集中している地区であり、東海道の要衝として栄え、また琵琶湖・淀川の水運と連携することで、交流の拠点として古くから重要な役割を果たしてきた地区である。

宇治市域は、646年に宇治橋が架橋され古代から交通の要衝として発展した地域である。また都に近く風光明媚な地区であったことから、平安時代には貴族の別荘地として栄え、源氏物語宇治十帖の主要な舞台になるなど、王朝文化の一翼を担った地域であった。天ヶ瀬ダムから約2km下流の塔の島地区周辺には、寺社等の史跡が広く分布し、特に藤原頼通が建立した平等院や、現存する最古の神社建築とされる宇治上神社等は共に世界遺産に指定されている。

宇治田原町一帯は、奈良～平安時代に仏教修学の一大拠点として栄え、金胎寺（鷲峰山上、和束町内）をはじめ医王教寺、山滝寺などの寺院が次々に建立され、禅定寺も正暦2年（991年）に創設された。都に近いことからしばしば争乱の舞台となる中で社寺仏閣は荒廃していったが、江戸時代には一帯が宮廷の禁裏御料となり、栗や松茸を豊富に産し、上方の副産物類の主産地となった地区である。また、湯屋谷の茶業家永谷宗七郎（宗円）が煎茶の近代製法を考案したことで、お茶の一般化・大衆化が進み、緑茶発祥の地としての伝承が残されている地区である。



図 7.2-1 天ヶ瀬ダム下流周辺の概要図

地域周辺の特徴的な地場産業として、宇治茶の生産があげられる。宇治茶は全国的なブランドとなっており、宇治田原町には日本茶発祥の地としての伝承が残されている。

宇治市・宇治田原町のそれぞれの茶園面積(ha)・生産量(t)の推移を表 7.2-1 に示す。

表 7.2-1 茶園面積・生産量

茶園面積・生産量		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
宇治市	茶園面積(ha)	82.2	82.6	82.7	82.5	81.8	81.9	78.5	78.9	79.0	79.0	79.1	79.1	79.4
	生産量(t)	64.3	67.8	73.1	56.3	51.4	59.9	56.7	63.8	60.1	61.5	55.7	61.9	61.1
宇治田原町	茶園面積(ha)	233.7	233.6	233.4	233.3	233.2	233.1	232.9	232.6	232.6	232.9	233.3	—	—
	生産量(t)	491	540.4	472.2	411.4	457.8	450.4	410.4	318.1	330.2	340.4	308.4	—	—

※宇治田原町統計書（H20 年版）でデータは H18 までのため、H19、H20 は記載していない。

出典：資料 7-1、7-2

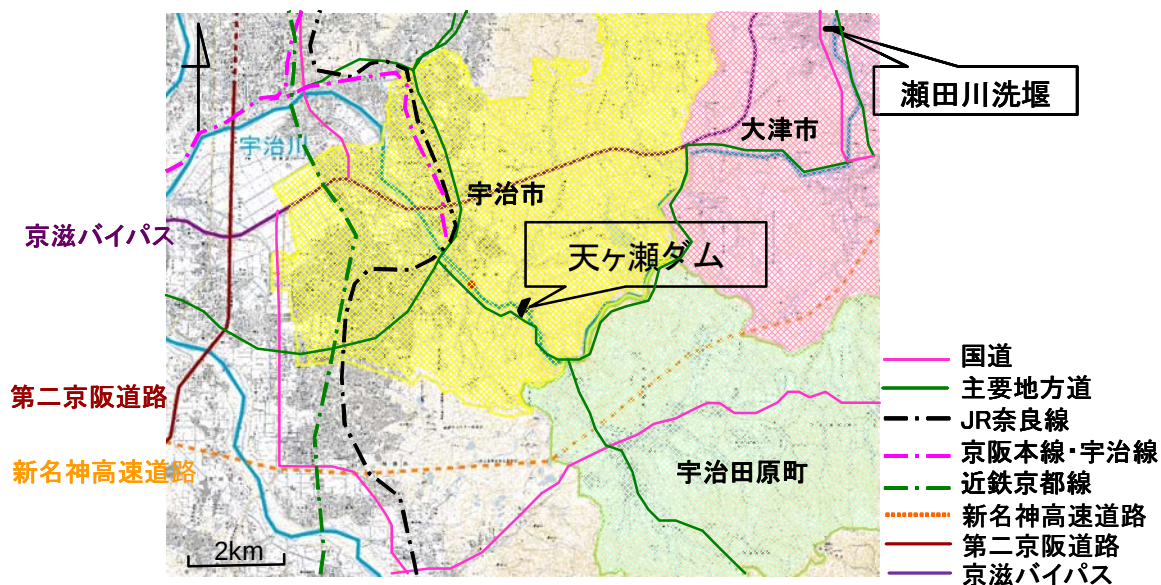
7.2.2 ダムの立地特性

(1) 水源地域へのアクセス

宇治市・大津市・宇治田原町は、それぞれ府（県）道 3 号、62 号、783 号等により連絡されている。当該地域では、京滋バイパスや新名神高速道路（一部供用開始）など、広域的な道路ネットワーク整備が進められている。

宇治田原町内においては、新名神高速道路の I.C. 整備が計画されている。

また、宇治川沿いに走る宇治川ライン（府県道 3 号）は、宇治市と大津市とを連絡する道路であるが、途中に立ち寄りポイントがあまりないことなどから、通過交通が比較的多い道路となっている。



※図中点線は計画路線 ※国土地理院1/25,000地形図使用

図 7.2-2 水源地域の立地特性図

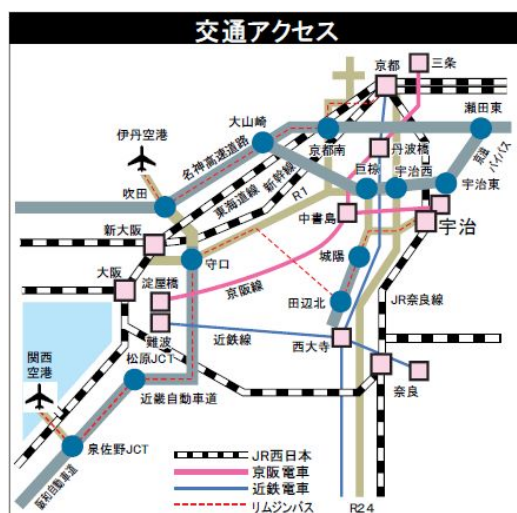


図 7.2-3 宇治までの交通アクセス

宇治までの交通のご案内				
東京から				
東京	新幹線のぞみ号	京都	JR奈良線快速	宇治
	2時間15分		16分	
大阪から				
大阪	JR京都線新快速	京都	JR奈良線快速	宇治
	27分		16分	
淀屋橋	京阪本線特急	中書島	京阪宇治線普通	宇治
	37分		14分	
難波	近鉄奈良線快速急行	西大寺	近鉄京都線急行	大久保
	29分		20分	バス
伊丹空港	リムジンバス	京都	JR奈良線快速	宇治
	55分		16分	
関西空港	JRはるか号	京都	JR奈良線快速	宇治
	75分		16分	
関西空港	リムジンバス		約2時間	宇治
京都から				
京都	JR奈良線快速			宇治
	16分			
三条	京阪本線特急	中書島	京阪宇治線普通	宇治
	15分		14分	

出典：資料 7-3

(2) 天ヶ瀬ダムへのアクセス

JR 宇治駅から天ヶ瀬ダムへは、約 3.8km あり車で約 10 分、徒歩で約 50 分かかる。京阪宇治駅からは天ヶ瀬ダムは、約 3.3km あり車で約 10 分、徒歩で約 40 分かかる。

天ヶ瀬ダムには、来場者用の駐車スペースが確保されていない。また、バス路線などの公共交通機関もないため、宇治市街地から天ヶ瀬ダムへのアクセスには恵まれていない。

なお、宇治市街地も駐車場が不足しており、行楽シーズンには路上駐車や渋滞も発生している。そのため、行楽シーズンにおける渋滞緩和などのために平成 18 年から天ヶ瀬ダム下流に臨時駐車場（平等院から約 2km）を設ける試みも行われている。

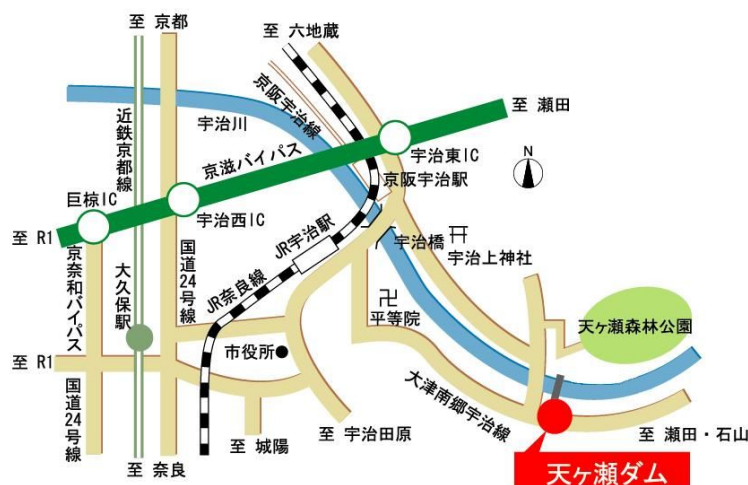


図 7.2-4 天ヶ瀬ダムへのアクセス



図 7.2-5 新聞記事（京都新聞, H11 年 11 月 1 日）

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

(1) 水源地域の人口、産業別就業人口の推移

ダム竣工前（昭和 30 年（1955 年））からの人口推移をみると、大津市および宇治市で約 3 倍、宇治田原町では約 1.4 倍となっており、全ての市町村の人口が増加している。図 7.3-1 に人口推移図を示す。

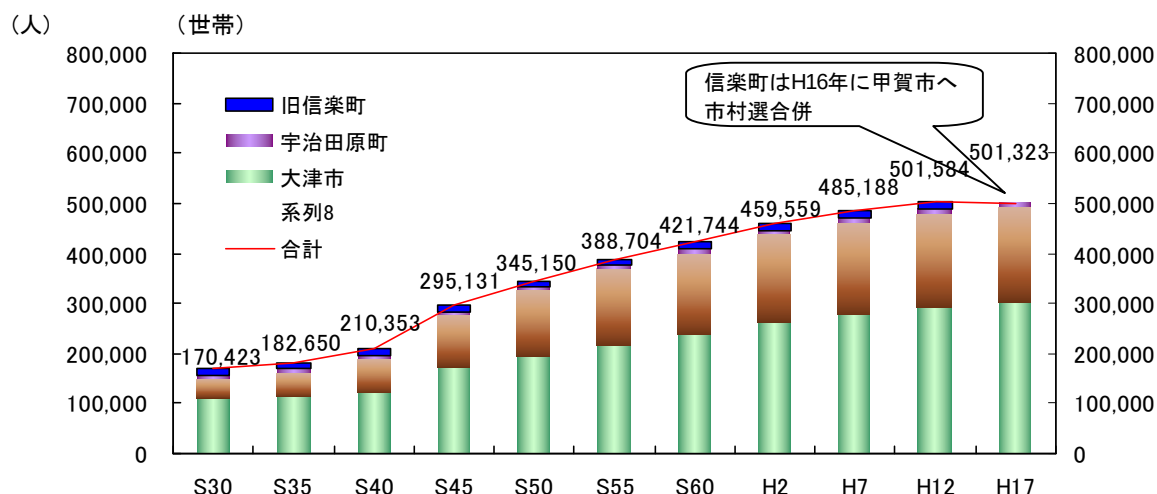


図 7.3-1 水源地域の人口推移図

出典：資料 7-1, 7-4

図 7.3-2 に産業別就業人口比率と水源地域の人口を示す。

産業別就業人口比率は、第 3 次産業が大幅に増加し、第 1 次、第 2 次産業は減少傾向となっている。

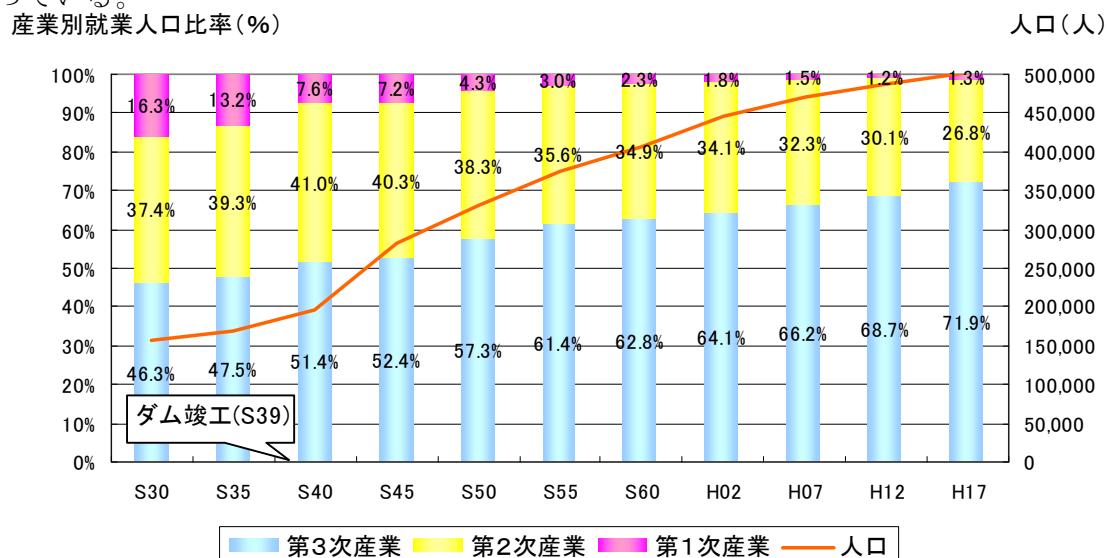


図 7.3-2 水源地域の産業別就業人口比率推移図

出典：資料 7-1, 7-4

(2) 観光入り込み客数

宇治市における観光入り込み客数を表 7.3-1 に示す。

表 7.3-1 観光入り込み客数（宇治市）

（単位：千人）

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
平等院	669	751	677	708	696	1,546	1,642	1,758	2,080
黄檗山萬福寺	138	119	113	87	63				
宇治神社	360	360	365	365	365				
宇治上神社	50	52	51	52	53				
府立宇治公園	405	428	424	408	424	541	538	630	698
さくら祭	180	185	95	125	115	104	85	130	145
鵜飼	4	4	5	3	5	5	5	6	5
県（あがた）祭	140	110	134	137	145	130	110	115	80
花火大会	190	200	220	220	190	190	190	220	220
茶祭	20	25	25	25	18	15	12	15	12
源氏ろまん	7	3	3	5	5	2	6	6	6
宇治十帖スタンプラリー	38	29	37	33	41	37	47	50	55
源氏物語ミュージアム		118	101	99	85	83	90	113	205

出典：資料 7-5

(3) 観光イベント等の開催

水源地域では、表 7.3-2 に示す観光イベントが行われている。

表 7.3-2 観光イベント一覧

	大津市	宇治市	宇治田原町
春	おおつ花フェスタ 大津っ子まつり 献餞供御人行列	開山（隠元禅師）忌 宇治川さくらまつり 炭山陶器まつり 宇治川まつり（宇治神社） 市民茶摘みの集い 宇治川写生大会（宇治川河畔一帯） 茶摘み（市内各茶園） 宇治神社神幸祭（旧宇治町一帯） 全国煎茶道大会（黄檗山萬福寺） 宇治川魚釣大会（宇治川一帯） 頼政忌（平等院）	春番茶刈り 猿丸神社春期大祭 茶宗明春期大祭 さくら祭り 茶摘み 町茶品評会
夏	みずほ祭り ウチョウラン展示会 漏刻祭 びわ湖大津館の西洋式回遊庭園 公私立保育園の写真展 ROCK ON OTSU 大津キャビック展 びわ湖大津なぎさ音楽祭 学区対抗ビーチバレーボール大会 びわ湖大津サマーフェスタ 花器品評会 堅田湖族まつり 船幸祭 米寿写真展 ゆかた祭り	鶴飼 ライブジャック 大幣神事（あがた神社） 宇治神社還幸祭（旧宇治町一帯） 七夕まつり（宇治神社） 千日参り（三室戸寺） 宇治川花火大会） 県まつり	ホテル保護パトロール 住民プール開き にりこみ囃子 ふるさとまつり（花火大会）
秋	白馬国際芸術祭 大津・京橋教室作品展 環境パートナーシップ交流会 大津祭 大津なぎさオータムフェスタ 近江神社一流鎗馬 びわ湖車いすテニストーナメント 大会 我が町ー堅田の橋 展示会 大津市勤労青少年ホームレイキー フェスタ 秋のライトアップー紅葉の門前町 坂本 比叡山延暦寺の紅葉 町屋 まちなか 博覧会	茶まつり 観月茶会 源氏ろまん（紫式部文学賞、宇治大 田楽まつり等） 黄檗山月見の会（黄檗山萬福寺） 開山（道元禅師）忌（興聖寺） 製茶記念日・献茶祭（宇治神社ほか） 宇治茶まつり（宇治橋・中の島付近） 百味の御食（白山神社） 源氏ろまん 宇治十帖スタンプラリー	大滝大明神祭 田原祭（三社祭） ふるさとまつり（観月茶会） 福祉バザー 柿屋建て
冬	大津の子ども総合美術館 坂本ひな人形展	除夜（鐘突）（平等院ほか） 初あがたまつり（あがた神社） 紅葉講春季大会 節分祭（宇治神社ほか） 宇治市観光写真コンクール 宇治川マラソン 関白忌（平等院） 山宣祭（善法墓地）	出初式 高尾の緑たたき 神縄座

7.4 ダムと地域の関わりに関する評価

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

天ヶ瀬ダムでは、ダム水源地の自治体、住民等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための水源地域ビジョンを平成17年(2005年)1月に策定し、ビジョンの推進を図っている。

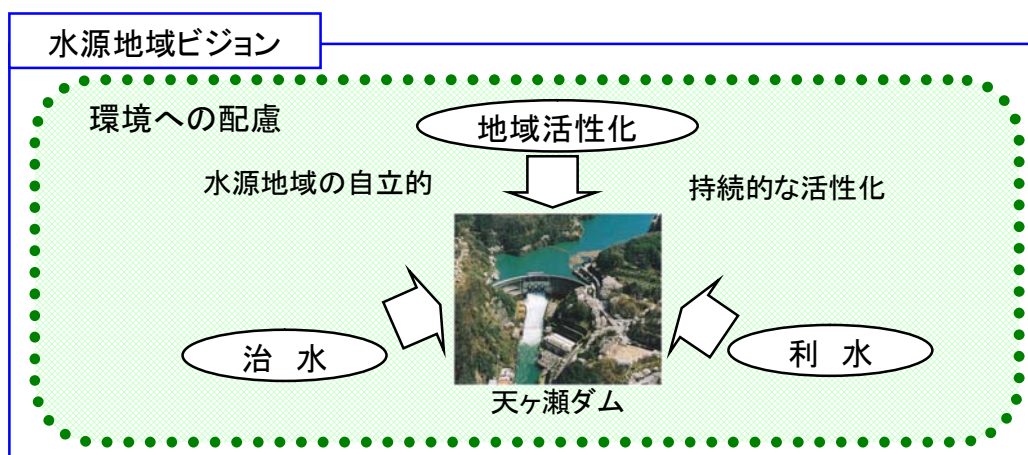


図 7.4-1 水源地域ビジョンの概念図

(1) 天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン

天ヶ瀬ダムでは水源地域ビジョンの基本理念を以下のとおりとして、ダム水源地の自治体、住民等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図っている。

『永い歴史と豊かな文化が溶け込んだ
水と緑の生活環境を目指して』

この基本理念に沿った基本的な3テーマとその取り組み内容を示す。

テーマ1：地域が有する森林や水辺などの自然環境の永続的な保全と育成

- 森林資源保全への取り組みの推進（水源林の保全）
 - ・国定公園、風致地区、保安林指定などの遵守
 - ・森林、緑地の保全、育林、植林の実施
 - ・田園風景の保全と形成の取り組み
 - ・森林施業の基盤整備（林道整備の推進など）
 - ・山林オーナー制度の取り組み検討
- 河川環境の保全にむけた取り組みの推進
 - ・天ヶ瀬ダム再開発事業の推進
 - ・河川改修の推進と維持管理（宇治川下流部）
 - ・流入支川の河川環境の保全、創出
- 継続的な保全活動の展開に向けた取り組みの推進
 - ・環境保全計画の推進
 - ・既往の環境保全活動の継続や新たな自然愛護活動の実施
 - ・地元のボランティア組織及び関連施設の整備検討

テーマ2：2市1町の歴史、文化、産業などの特性を生かした活性化

- 地域資源の活用による観光、交流活動の活性化（共同開催のイベント）
 - ・歴史的、文化的資源を活用したソフト施策
 - ・水辺空間を活かしたイベント等の企画、検討
- 地域産業の振興と活用に向けた取り組みの展開
 - ・宇治茶の生産を活用とした活動
 - ・林業振興における間伐材の活用
 - ・柿の特産品生産を活用した活動
- 交流の場の整備、創出の検討
 - ・天ヶ瀬森林公園の整備推進
 - ・既存施設の活用、拡充
 - ・生涯学習、総合学習の時間等との連携強化
 - ・グリーンツーリズム等への対応
 - ・ダム資料館、河川事業など広報スペースの整備

テーマ3：河川を軸とした流域の相互連携、交流ネットワークの形成

- 河川軸や道路軸を活用した地域連携軸の形成
 - ・ダム湖や宇治川沿いの動線や拠点の整備検討
 - ・国道422号、大津南郷宇治線に沿った広域ネットワーク機能の拡充
 - ・歴史街道計画の推進
- 新たな交流ネットワークの展開への取り組み、検討
 - ・新しい広域型の集客についての調査研究
 - ・新しい名所の創出への取り組み
- 情報の共有、連携による地域の一体的な活性化の推進
 - ・イベント情報の提供、発信の取り組み
 - ・観光ボランティアの育成、支援
 - ・地域の活性化に向けた地域検討会、シンポジウムなどの共同開催
 - ・水源地域コミュニティ誌発刊の検討

出典：資料 7-6

(2) 水源地域ビジョンの進め方

天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会により、ビジョンに沿った施策の検証と展開を検討している。

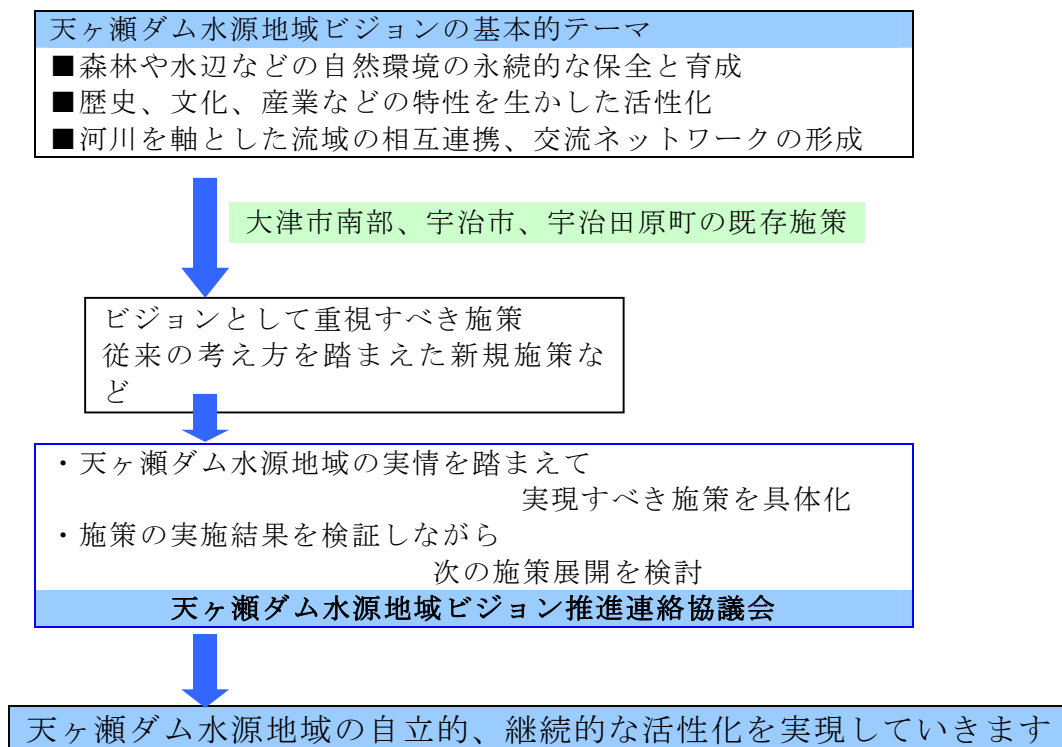


図 7.4-2 水源地域ビジョンの進め方

出典：資料 7-6



図 7.4-3 水源地域ビジョン推進連絡協議会会議状況

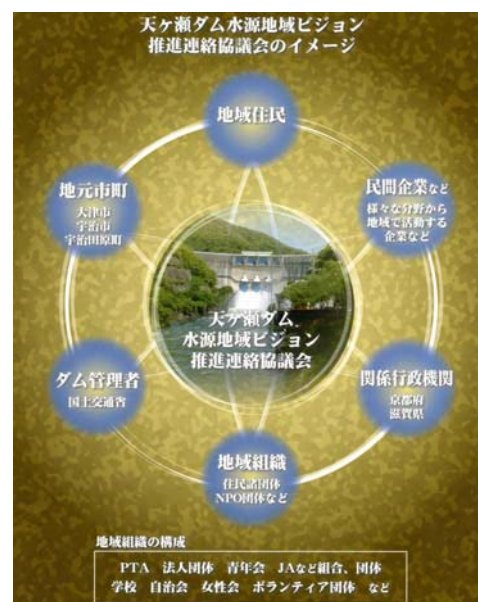


図 7.4-4 水源地域連絡協議会のイメージ

出典：資料 7-6

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

(1) ダム見学者数

天ヶ瀬ダムには、年間約 4.2 万人が見学に訪れている。また、小中学生の総合学習や中学生の職場体験の場として利用されている。

宇治十帖スタンプラリーが実施されている 10 月～11 月に見学者が多くなる傾向がある。

なお、堤頂通路は、安全対策を実施するため、平成 20 年冬～平成 21 年 3 月は閉鎖、平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月までは仮開放としており、安全対策実施後の平成 22 年 4 月から再び開放している。

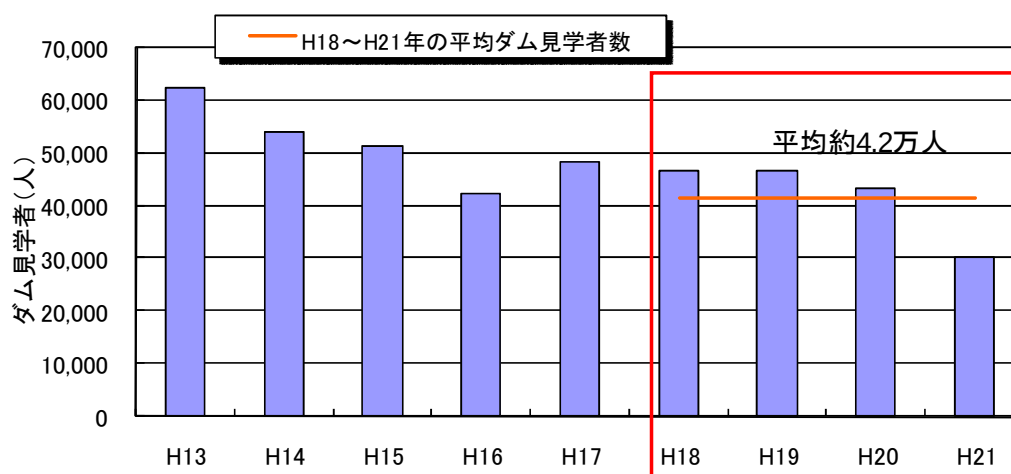
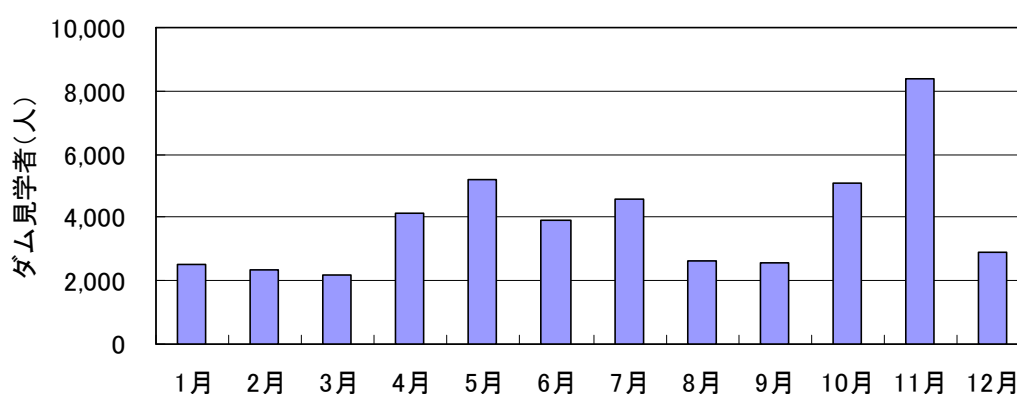


図 7.4-6 ダム見学者数



※人数は、ダムサイト入口に設置されている感知センサーによる値

図 7.4-7 H19 年の月別ダム見学者数



図 7.4-5 小学生の総合学習



図 7.4-6 中学生の職場体験（機器設備点検状況）

表 7.4-1 中学生の職場体験 参加人数

平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1 校 5 名	1 校 3 名	2 校 9 名	3 校 10 名	6 校 23 名

(2) ダム湖周辺における不法投棄と清掃活動

天ヶ瀬ダム貯水池周辺は、京都府宇治市と滋賀県大津市を結ぶ幹線道路があり、そこから投棄されたとと思われるゴミが貯水池斜面において確認されている。特に多くの生活ゴミが確認された、大峰橋左岸付近、曾束大橋左岸付近、下出橋左岸付近については、平成 18 年度～平成 20 年度にかけて処分している。これらの箇所には、不法投棄防止看板を設置し、啓発に努めている。

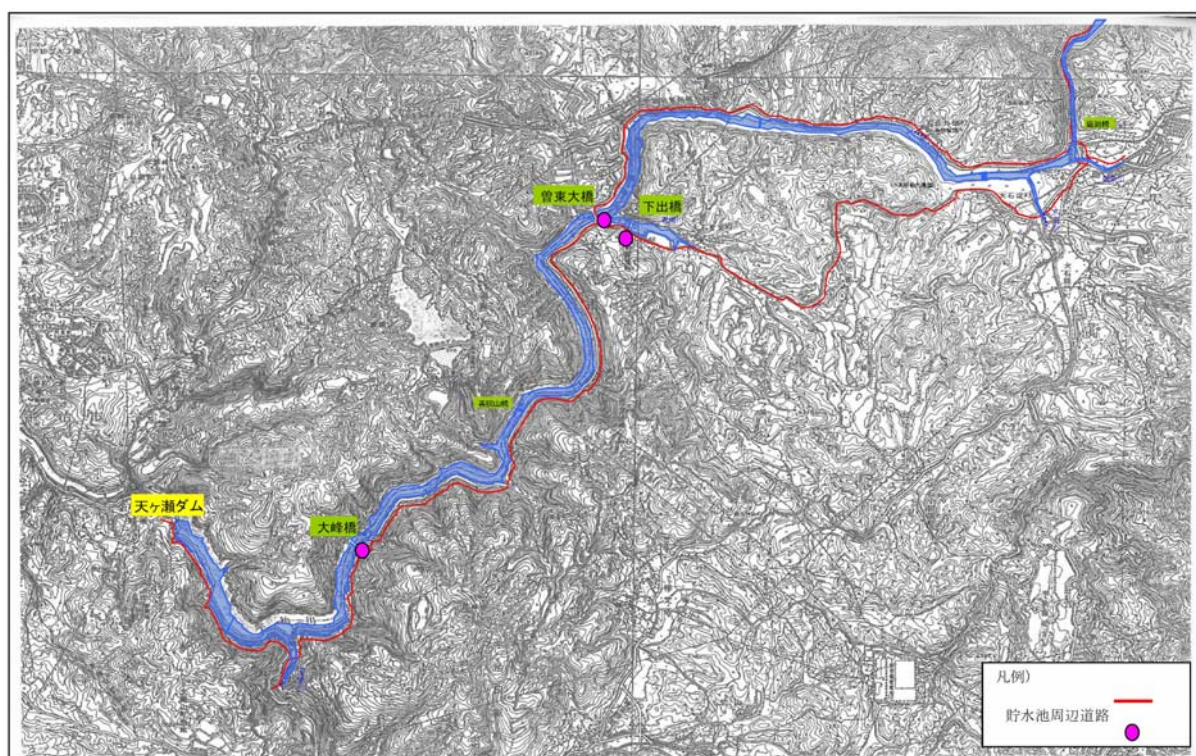


図 7.4-8 不法投棄されている箇所



不法投棄注意看板



不法投棄写真（生活ゴミ）

表 7.4-2 不法投棄された位置、処理量一覧表

年度	対象地区	処理量
平成 18 年度	曾束大橋左岸付近	24m ³
平成 19 年度	下出橋左岸付近、大峰橋左岸付近	5m ³
平成 20 年度	曾束大橋左岸付近	8m ³

平成 19 年から瀬田川水辺協議会主催による「瀬田川クリーン作戦」（瀬田川一斉清掃）が実施されている。参加団体は沿川自治会、NPO 法人瀬田川リバプレ隊、滋賀県ボート協会（各大学、高校ボート部）、ボーイスカウト、瀬田川流域観光協会、漁協等である。

表 7.4-3 瀬田川クリーン作戦実施状況

実施日	参加者数（人）	ごみ収集量（kg）
平成 19 年 7 月 8 日	252	879
平成 20 年 8 月 31 日	368	615
平成 21 年 10 月 25 日	207	776

出典：資料 7-12



図 7.4-9（1）瀬田川クリーン作戦



図 7.4-9（2）瀬田川クリーン作戦



図 7.4-9（3）瀬田川クリーン作戦



図 7.4-9（4）瀬田川クリーン作戦



図 7.4-9（5）瀬田川クリーン作戦



図 7.4-9（6）瀬田川クリーン作戦

(3) ダムカード

ダムカードは、平成 19 年度の森と湖に親しむ旬間に全国の国土交通省の直轄ダムや独立行政法人水資源機構の管理するダムで配布が始まったカードであり、天ヶ瀬ダムのダムカードは天ヶ瀬ダム管理支所で配布を行っている。

平成 19 年 7 月から平成 19 年 7 月よりダムカードを配布しており、平成 21 年末までに累計 2,369 枚配布している。



図 7.4-10 天ヶ瀬ダムのダムカード

表 7.4-4 ダムカード配布数

	H19※	H20	H21
配布数	709	811	849

※H19 年 7 月より配布

7.4.3 堤頂通路安全対策

天ヶ瀬ダムの堤頂通路は、24時間開放され、年間約5万人の方々が、観光やハイキング、憩いの場として訪れ、宇治の名所の一つであった。その一方で、ダムからの投身自殺者が絶えず、平成20年には、7月から11月に7名の方が自ら命を絶たれる事態が発生した。そのため、平成20年12月から平成21年4月まで、堤頂通路の立入禁止措置を講じ、暫定的な堤頂通路の安全対策を行った。また、平成22年4月に本格開放を再開するため、天ヶ瀬ダムでは専門家の意見を伺いながら堤頂通路安全対策として、様々な取り組みを行った。

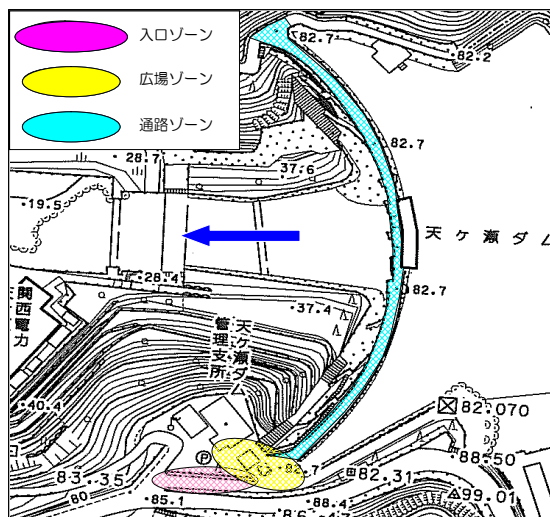
表 7.4-5 天ヶ瀬ダム堤頂通路安全対策の経緯

日 付	項 目	内 容
H20.7.7～H20.11.30	投身自殺の発生(7件)	
H20.11.18～H20.11.27	有識者、関係機関との意見交換	有識者、京都府、宇治市、宇治警察署の関係者と意見交換及び現場視察
H20.12.1	堤頂通路立入禁止	暫定開放に向けた整備のため立入禁止。一部、公衆トイレ付近利用可能。
H20.12.7	第1回天ヶ瀬ダム安全対策検討会	有識者、宇治市及び国とで、検討会を立上げ、情報交換、意見交換及び助言の協議を実施
H21.1.27	第2回天ヶ瀬ダム安全対策検討会	有識者、宇治市及び国とで、取り組み状況の情報提供、意見交換及び助言の協議を実施
H21.2.20	第3回天ヶ瀬ダム安全対策検討会	高欄改修に関して、模型による関係者の検証及び助言の協議を実施 また、ダム通路の開放実施に向けての助言
H20.12～3	堤頂通路暫定開放に向けての整備	・仮設フェンスの設置 ・監視カメラ、センサー、ライトの設置 ・看板設置 等
H21.4.4	堤頂通路暫定開放	監視員を配置し、仮設フェンス設置のもと、午前8時～午後5時迄、時間制限による暫定開放を開始
H21.4～H21.10	安全対策工の詳細設計	専門家の意見を踏まえ、詳細設計を実施
H21.10～H22.3	天ヶ瀬ダム高欄等改修工事 実施	高欄、手摺及び通路部の改修工事
H22.4.1	堤頂通路開放	監視員を配置し、午前8時～午後5時迄、時間制限による本開放を開始

【堤頂通路安全対策の概要】

●ダム構内ゾーン分割

ダム構内を3つのゾーンに分割し、各ゾーンにおいて効果的な対策を行い、全体の安全性向上につなげる。



・入口ゾーン①

監視カメラ設置により意識付けを行うとともに、直接ダムが見えないように目隠しパネルを設置。



・入口ゾーン②

監視員を配置し受付をすることで、不審行動の早期発見を行う。また、直接堤頂通路に向かわないよう遠回りで誘導



・広場ゾーン

休憩用の椅子やフラワーポット等で、誘導した来場者を多く留ませる空間整備



・通路ゾーン①

監視員による声かけ、パネル設置による賑わい創出



・通路ゾーン②（夜間）

「落ち着く」・「冷静」というイメージの青色照明。入口部にセンサーを設置し、不法侵入者の早期確認



●高欄部の改修

「越えにくい」・「足を掛けにくい」・「体が回転しにくい」ように、模型実験を行い構造設計し、改修を実施。



出典：資料7-7, 7-8

7.5 ダム周辺の状況

7.5.1 ダム周辺整備事業の状況

天ヶ瀬ダム周辺では、表 7.5-1 に示す施設の整備がダムサイト周辺と貯水池上流の大石地区で行われており、天ヶ瀬森林公園における散策や大津市都市公園でのスポーツ活動等の利用が図られている。



図 7.5-1 ダム周辺図

表 7.5-1 ダム周辺施設

施設等名称	内容	規模	事業主体	管理主体
ダム本体	堤体付近広場 案内板	総面積：2,600㎡ 1箇所	国 ダム管理者	国
右岸展望広場	展望施設	総面積：2,000㎡ 1箇所	ダム管理者	国
天ヶ瀬森林公園	展望施設 遊歩道 観察小屋、森の家 四阿	総面積：900,000㎡ 2箇所 各1棟	京都府 京都府 京都府	宇治市 宇治市 宇治市
大津市都市公園	テニスコート 多目的グラウンド 駐車場 ゲートボール場 ローラースケート場	総面積：84,024km2 20面 13,760㎡ 1面 15,386㎡ 2箇所 6,151㎡ 4面 1,855㎡ 1箇所 3,130㎡	ダム管理者、大津市 ダム管理者、大津市 ダム管理者、大津市	大津市 大津市 大津市

7.5.2 ダム周辺施設の利用状況

ダム周辺施設（宇治市）における観光入り込み客数は 7.3 章の表 7.3-1 に示すに示す。

7.5.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

(1) 森と湖に親しむ旬間行事

天ヶ瀬ダムでは、昭和 62 年度(1987 年度)より「国民のみなさんに森林や湖に親しむことにより、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解して頂くこと」を目的に森と湖に親しむ旬間として天ヶ瀬ダムサマーフェスティバルを実施し、平成 19 年度は、天ヶ瀬および大石の 2 会場において約 960 人の来場者があった。



図 7.5-2 サマーフェスティバル 2007 の様子

サマーフェスティバルについては、「楽しかった」、「まあまあ良かった」を含めると、90%を占めており、その中でも天ヶ瀬発電所施設見学が最も多かった。

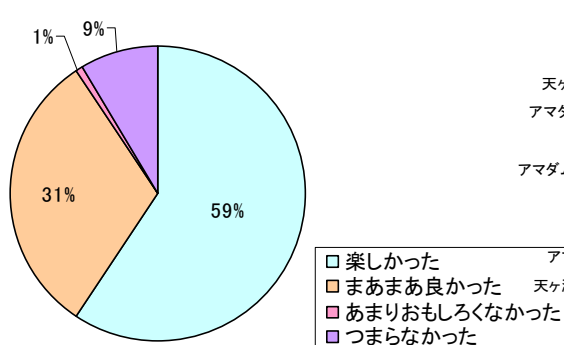


図 7.5-3 平成 19 年度サマーフェスティバルアンケート結果 (1)

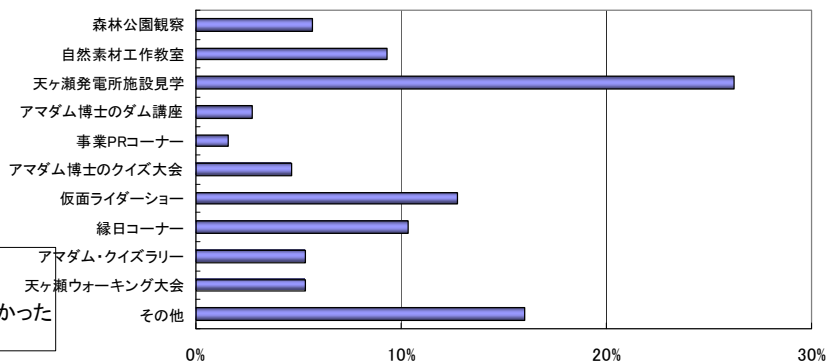


図 7.5-4 平成 19 年度サマーフェスティバルアンケート結果 (2)

出典：資料 7-9

(2) 源氏物語宇治十帖スタンプラリー

天ヶ瀬ダムサイトは、宇治市が平成3年度(1991年度)より毎年10月下旬から11月はじめの休日(5日程)に開催している源氏物語宇治十帖スタンプラリーの健脚コースのスタンプポイントの一つとして活用されている。

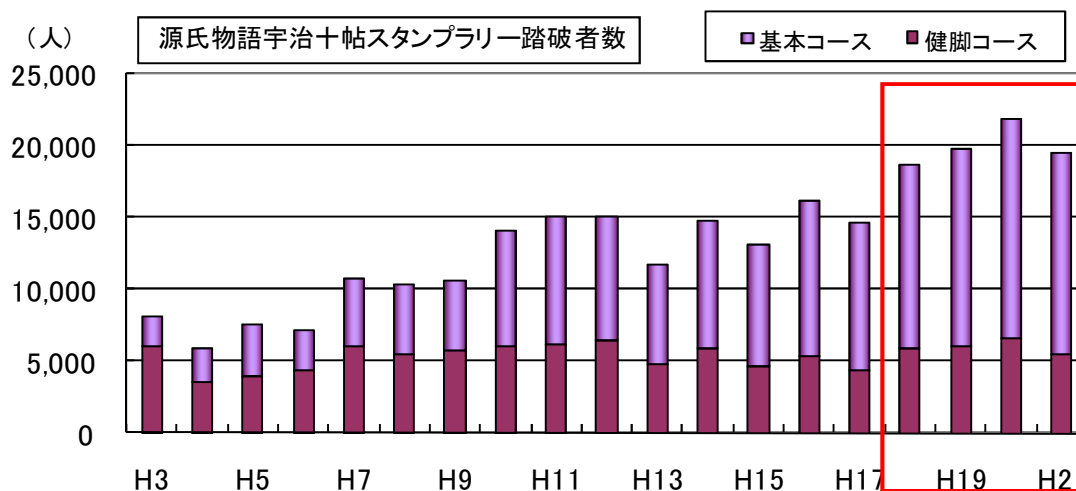


図 7.5-5 源氏物語宇治十帖スタンプラリーパンフレット



図 7.5-6 源氏物語宇治十帖スタンプラリー写真

源氏物語宇治十帖スタンプラリーは、参加者数も徐々に増加している傾向にあり、至近4カ年(平成18～21年)の平均踏破者数は全体で約20,000人、健脚コースで約6,000人となっている。平成18年から平成21年における全体の踏破者数は、増加傾向にある。



※天ヶ瀬ダムがスタンプポイントとなっているのは健脚コースのみ

図 7.5-7 源氏物語宇治十帖スタンプラリー踏破者数

出典：資料 7-10

7.6 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

ダム湖利用実態調査は、「河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕（国土交通省 河川局 河川管理課）」により、平成3年度(1991年度)から3年毎に実施しており、四季を通じた休日5日、平日2日の合計7日の現地調査（利用者アンケート調査：直接ヒアリング、利用者カウント調査）を実施し、年間利用者数の推定を行うものである。

天ヶ瀬ダム（鳳凰湖）におけるダム湖利用実態調査によると、近年では毎年約35万人の利用者が訪れている。利用者は主に湖畔に訪れ、目的は釣り、スポーツ、野外活動および散策である。平成21年については、若干減少傾向にある。なお、以下に示す平成21年度の結果については、平成18年度ダム湖利用実態調査による手法にて試算した値（速報値）である。

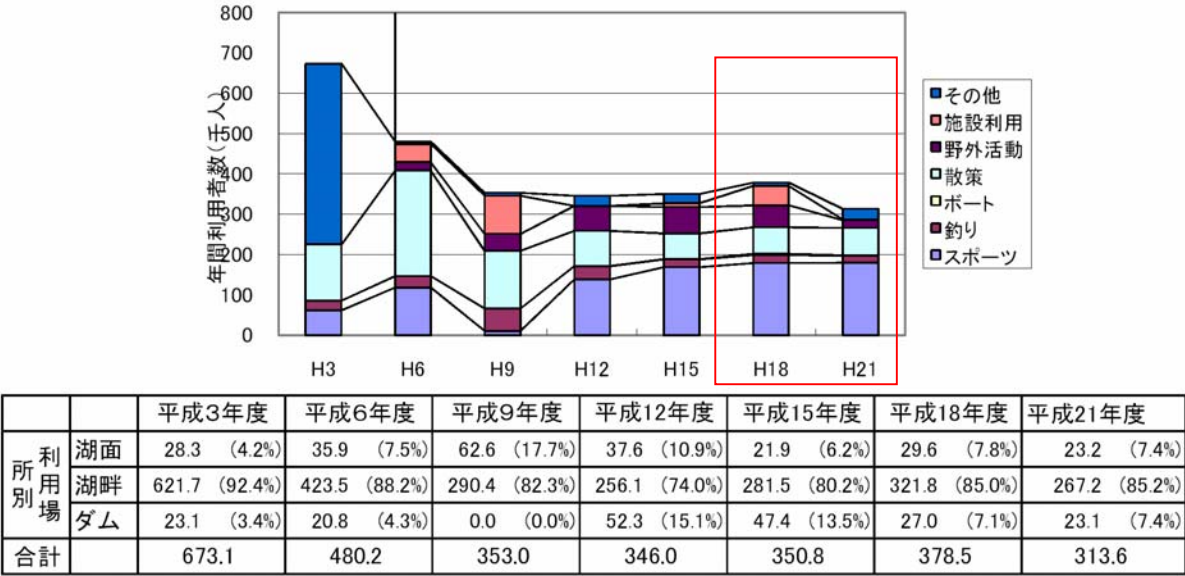
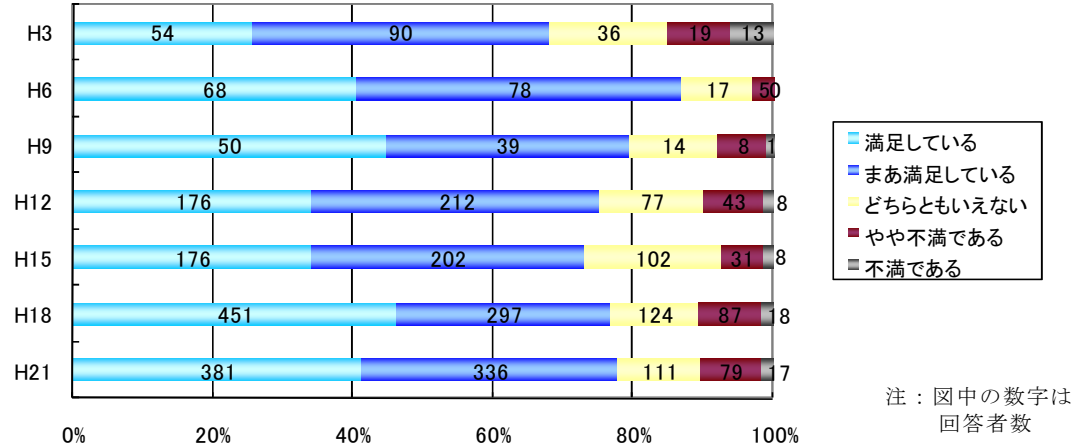


図 7.6-1 水辺の国勢調査（ダム湖版）結果

天ヶ瀬ダムを利用した感想を聞いた結果では、「満足している」「まあ満足している」が約7割を占めている。なお、個別の感想については、表 7.6-1 に示した。



注：図中の数字は回答者数

図 7.6-2 水辺の国勢調査（ダム湖版）アンケート結果

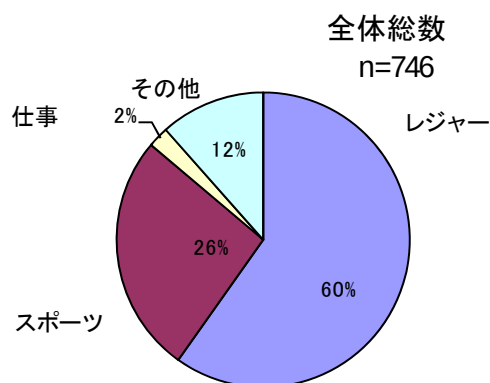
表 7.6-1 利用者の感想（平成 21 年度調査結果）

ブロック		代表的な感想	
		良い点	悪い点
1	ダム直下流域地区	・自然が豊かできれい。 ・緑が多く、距離も歩くのにちょうどいい。 ・カワセミの撮影。 ・木陰のすぐそばに車を停められて、バーベキューができる。	・緑が多いのはいいが、ゴミの不始末や不法投棄が多すぎる。 ・水道・トイレ・駐車場が整備されていない。 ・魚が減った。ダムができてから宇治らしさがなくなった。
2	ダムサイト地区	・空気もきれいだしゆったりとした感じが良く、満足している。 ・野鳥が多く、自然も残されていて大変よい。 ・近くて無料。自然がいっぱい。子供連れでも安心。 ・ダムが大きくて気持ちがよくなる。	・一部、山崩れで通れなくなっているところがあるから（景色がいいところなので）通れるようにしてほしい。 ・ダム湖周辺の道路を歩くと、車幅が狭いので危険を感じる。 ・大量の浮遊ゴミの現実を再確認。
3	ダム湖地区	・景観がよく、サイクリングに最適。 ・緑が多く、のどかな感じに満足。 ・景色などすごく良い。 ・道は悪いが走りやすい。	・湖の水も汚いし、道路にゴミが落ちていたりする。 ・大型車・工事車両が多く、道路も狭く危険。 ・トイレの場所とかが少ないし、不便さを感じる。 ・景観が良いが、道路がガタガタ（スリップ止め）で走りにくい。端に 1 m 位サイクリング用のスペースを取ってほしい。
4	大石地区	・緑と川の生き物が心潤してくれる。 ・車が止めやすい。モロコを釣るために来た。 ・イチョウを見に来る。 ・犬をゆっくり散歩させられる。 ・トイレがあって便利です。 ・歩道ができて良くなった。	・子供が遊べる場所、車の出入りが激しく危険。 ・ゴミが多い。 ・ペットのフン。ゴミ箱がない。 ・魚の住める水量にしてほしい
5	大石運動公園地区	・自然も多く、スポーツをする環境は申し分ない。 ・グラウンドも広く、子どもたちがのびのび運動できる。 ・テニスコートもたくさんあるし、環境も良いので満足している。	・立木山に行けるような遊歩道は作るべき。子供たちが危ない。何人も事故している。柳の木、綿のような繊毛が大量に飛んで困るので、ある程度、伐採してほしい。芝生だけだと寂しいので、子供が遊べるようなものがあればいい。 ・公園管理事務所との距離が遠い。
6	曾束緑地地区	・水辺も近く、緑も多く、芝生もある公園に大変満足。 ・曾束緑地は広いので、よく家族と遊びに来る。また春は花見でも来る。 ・身近に自然があり、子供と遊ぶには最適な公園と思います。	・公園に対しては満足しているが、訪れる人たちのマナーが悪い（犬のフン・バーベキュー客のゴミ）ことに対して非常に不満である。 ・開発しすぎて落石が多すぎる。自然をもう少し残してほしい。 ・子供が遊べる遊具がほしい。

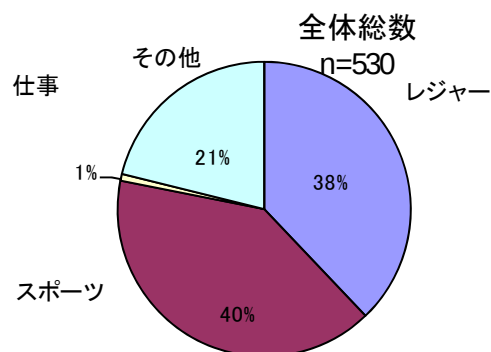
出典：資料 7-11

来訪目的は、38～60％がレジャー、26～40％がスポーツ。滞在時間は、33～39％が1時間未満であり、約23％が1時間以上2時間未満であった。同伴者は、40～49％が単独、約30％が家族であった。過去の来訪はダム周辺、大津市都市公園周辺ともに約80～90％が「有」と回答しており、リピーターが多い。住所は、ダム周辺では、44％が宇治市、23％が京都市、大津市都市公園周辺では62％が大津市であり、近隣市町村からの来訪者が多い。年齢では、60代以上が28～42％、性別では、75～81％が男性であった。

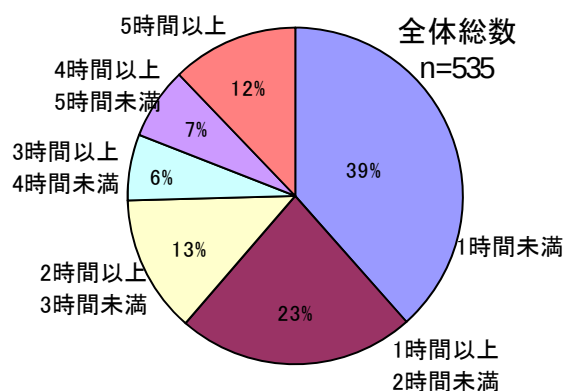
【来訪目的】（ダム周辺）



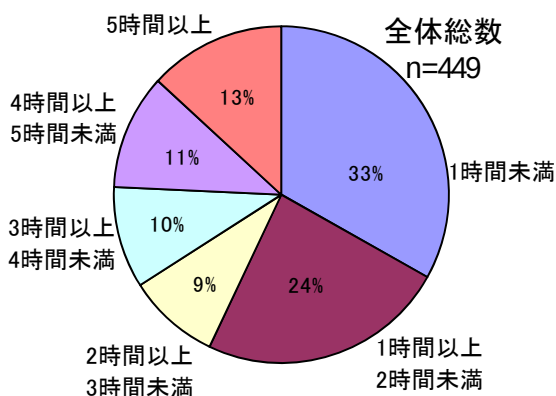
（大津市都市公園周辺）



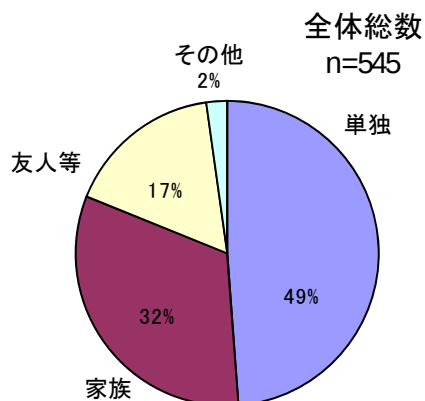
【滞在時間】（ダム周辺）



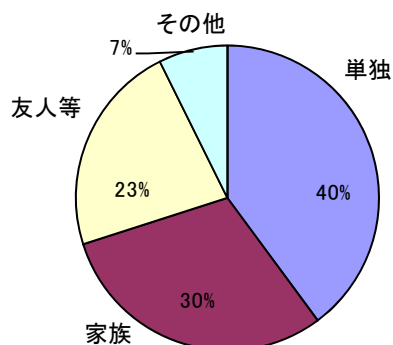
（大津市都市公園周辺）



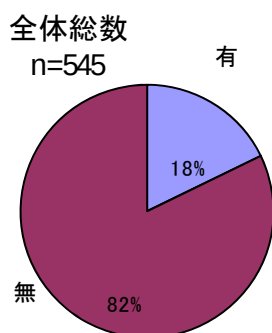
【同伴者】（ダム周辺）



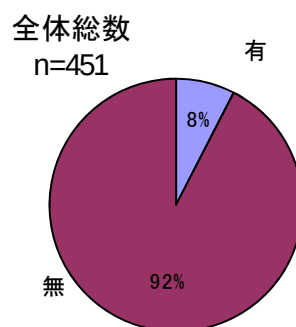
（大津市都市公園周辺）



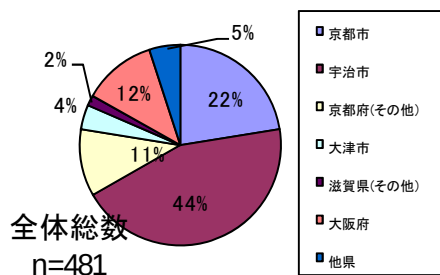
【過去の来訪の有無】（ダム周辺）



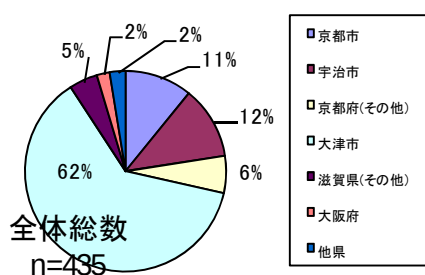
（大津市都市公園周辺）



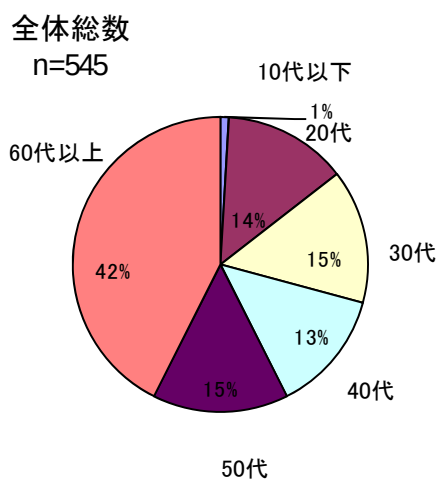
【住所】（ダム周辺）



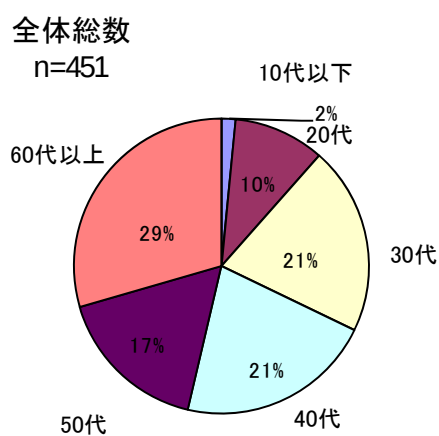
（大津市都市公園周辺）



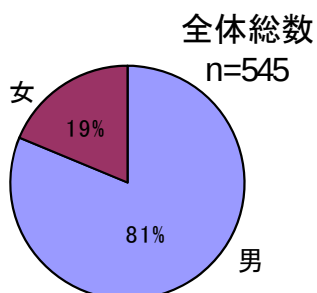
【年齢】（ダム周辺）



（大津市都市公園周辺）



【性別】（ダム周辺）



（大津市都市公園周辺）

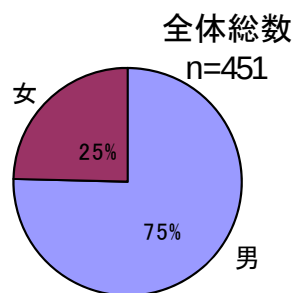


図 7.6-3 利用者アンケート結果

出典：資料 7-11

7.7 まとめ

- 天ヶ瀬ダムは、宇治市の観光の中心から近く、天ヶ瀬森林公園も隣接し、散策の拠点等として年間約 4.2 万人（平成 18～21 年平均）が訪れている。
- 源氏物語宇治十帖スタンプラリーや小中学校の総合学習や職場体験の場としても利用されている。
- 天ヶ瀬ダムの周辺は、天ヶ瀬森林公園や大津市都市公園が整備され、散策やスポーツ活動の拠点として、多数の利用者がある。
- 天ヶ瀬ダム堤頂通路は改修等を行い、安全対策に取り組んでいる。
- 天ヶ瀬ダムは、地域住民の散策の場や源氏物語宇治十帖スタンプラリーの拠点、小中学校の総合学習・職場体験の場等に利用されており、水源地域の活性化に寄与している。
- 一方、水源地域の活性化や地域との連携の視点から、以下のような課題を有している。
 - ・貯水池沿いの道路は幅員が狭く大型車等の通過交通量が多い。
 - ・不法投棄や上流から流下してくるゴミが多く景観を損ねている。
 - ・天ヶ瀬ダムには来場者用の駐車スペースが確保されておらず、バス路線などの公共交通機関もないため、利便性に欠ける。

<今後の方針>

水源地域の活性化を図れるよう、今後も引き続き、地域とともに水源地域ビジョンの実施を推進していく。

水源地域と連携して、今後も総合学習などの場を提供していく。

7.8 文献リスト

表 7.7-1 水源地域動態に使用した文献・資料リスト

No.	報告書またはデータ名	発行者	発行年月	箇所
7-1	京都府統計書	京都府	昭和 30 年～平成 17 年 (5 ヶ年毎)	茶園面積・生産量、茶種別生産量、人口、世帯数、産業別就業人口
7-2	宇治田原町統計書	宇治田原町	平成 20 年	茶園面積・生産量、茶種別生産量
7-3	パンフレット宇治旅物語	宇治市	平成 18 年	宇治までの交通アクセス
7-4	滋賀県統計書	滋賀県	昭和 30 年～平成 17 年 (5 ヶ年毎)	人口、世帯数、産業別就業人口
7-5	宇治市統計書	宇治市	平成 20 年	観光入り込み客数
7-6	パンフレット天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン	淀川ダム統合管理事務所	平成 17 年	水源地域ビジョン
7-7	平成 20 年度天ヶ瀬ダム投身自殺発生状況と防止対策の取り組み	淀川ダム統合管理事務所	平成 21 年 1 月 19 日	堤頂道路安全対策
7-8	「生きたい」という小さな SOS を見逃さないために－天ヶ瀬ダムでの自殺防止対策－	大和川河川事務所	平成 22 年 9 月 10 日	堤頂道路安全対策
7-9	平成 19 年度天ヶ瀬ダム森湖行事企画運営業務報告書	淀川ダム統合管理事務所	平成 19 年	森と湖に親しむ旬間行事
7-10	宇治十帖スタンプラリー	宇治市	平成 3～21 年	パンフレット、踏破者数
7-11	ダム湖利用実態調査	淀川ダム統合管理事務所	平成 3～21 年 (3 ヶ年毎)	ダム湖利用実態調査
7-12	瀬田川クリーン作戦実施結果	瀬田川水辺協議会	平成 19～21 年	地域とダム管理者の関わり